



東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告⑫ 『きょういく東村山』より

子ども読書応援団養成講座



「東村山うちでのこづち」結成！

市内には、子どもの読書にかかわる市民の方がたくさんいらっしゃいます。ボランティアとして、図書館はもちろん、小学校、地域の文庫や児童館、乳幼児親子のための子育て支援施設など、様々な場所で読み聞かせを行い、子どもたちに本の世界の楽しさを届けています。

そのような方々の活動をより充実させるためには、読み聞かせについての基礎知識やおはなし会のノウハウを学ぶ機会が必要です。

そこで、図書館の読み聞かせボランティアのメンバーと図書館とで、「子どもと本をつなぐ会・東村山うちでのこづち」を立ち上げました。「東村山うちでのこづち」とは、うちでのこづちを振って、楽しいお話をどんどん出して、東村山中の子どもたちを笑顔にしたいと願い、名付けたものです。

この「東村山うちでのこづち」が子どもゆめ基金の助成を受け、6月から11月にかけて「子ども読書応援団養成講座」を開催しました。

バラエティに富んだ講座

この講座は、企画も講師との交渉も当日の進行も、すべて実行委員全員で分担して実施しましたが、それぞれが持ち味を活かして役割を果たし、無事終了することができました。市民だけでも、行政だけでもできない、両者が一緒に行ったからこそ実現した講座だったと思います。

講座の内容は次の通りです。

- ①「読み聞かせの極意～基礎知識編」
講師：佐藤涼子氏
- ②「読み聞かせの極意～実技編」
講師：佐藤涼子氏
- ③「乳幼児への読み聞かせ」
講師：中村榎子氏
- ④「東村山読み聞かせ事情」
講師：図書館職員とボランティア
- ⑤「わらべうた講座」
講師：松下かなり氏
- ⑥「手袋人形を使ったおはなし会～実技編」
講師：高田千鶴子氏
- ⑦「手袋人形を使ったおはなし会～製作編」
講師：酒井美加子氏
- ⑧「おはなしおばさんの手あそびとおはなし講座」
講師：藤田浩子氏

子どもと本の架け橋を目指して

「読書は子どもが困難を乗り越える時に支えてくれる大切なもの」「子どもが生きにくい時代、地域の大人が手をつなぎ本を手渡そう」講師の先生方から心に響く言葉がたくさん語られました。

講座には、延べ200名の方が参加し、紹介された絵本、習ったわらべうたや小道具などを早速それぞれの活動場所で活かしてくださっています。

また、講座を通して市民同士のつながりも広がり、ますます「子ども読書応援団」の活躍が期待できそうです。

『きょういく東村山』第58号より転載

平成20年12月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会